

# 気象情報の今後の展開

平成29年10月27日  
総務省 総合通信基盤局  
基幹・衛星移動通信課 基幹通信室

# 自動走行システムにおけるSIPの取組

- 自動走行システムにおいて、高度な周辺環境の情報が重要
- 通信で得られる情報は、動的情報として特に重要

## SIP自動走行システムの取り組み領域



SIPとは、

総理大臣が議長である「総合科学技術・イノベーション会議」の下で、日本の経済・産業競争力にとって重要な課題を府省・分野横断的に取り組むもの

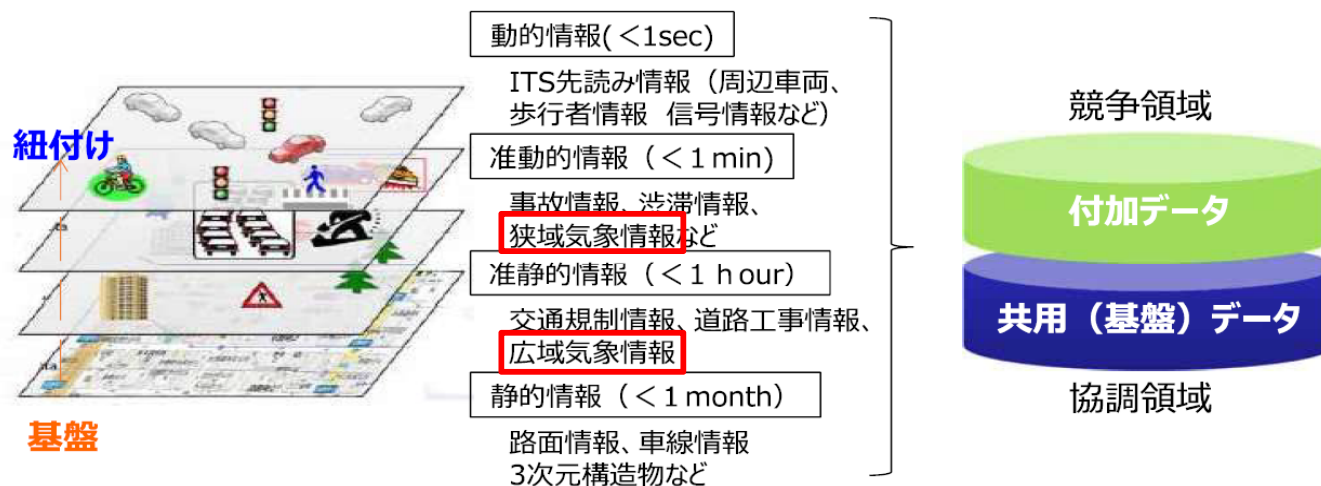
SIPでは、産学官共同で取り組むべき共通の課題についての研究開発を推進

# ダイナミックマップにおける気象情報の位置付け

- ダイナミックマップにおいて、「狭域気象情報」や「広域気象情報」は短時間取得すべきデータであり、共用データとして位置付け

## ダイナミックマップの構築

「自動走行システムの自己位置推定、走行経路特定のための高精度地図」のみでなく「すべての車両のための高度道路交通情報データベース（デジタルインフラ）」として活用



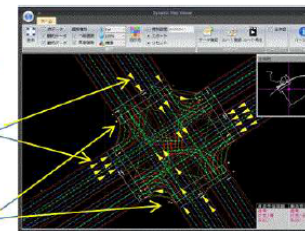
SIP成果 (基盤地図のデータフォーマットや精度管理方式、位置参照方式) を踏まえ、「**ダイナミックマップ基盤企画会社\***」を設立。

\*) 「ダイナミック構築検討コンソーシアム」  
6社及び自動車会社9社が出資

【車両及び信号機の動的データの表示】  
灯色と矢印の情報を受信して表示

黄色▲：車両情報

黄色●：歩行者情報



# 気象情報の多用途の展開

- 気象情報は、自動走行だけでなく、Society5.0の実現に向けて多用途の展開が期待

